

第六十一回

熊本城（熊本県熊本市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

熊本市賞

縄文の土器冷まじや五木村

熊本県熊本市 上田 幸子

特選句

笑顔みち子ら連なりて豊の秋

熊本県熊本市 日下部 浩美

投句総数 二十四句

開函日 令和八年一月三十一日

第六十一回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「柿」主宰 横田 青天子 選

奈良・斑鳩町賞

夢殿の辺にたんぽぽの返り花

奈良県大和郡山市 高塚 康文

特選三句

中宮寺跡の広きに秋桜

奈良県高市郡高取町 宮原 昭子

法隆寺背に鐘響く冬の夕

大阪府大阪市 青雨 青緒海

水音も景色の一つ苑の冬

奈良県天理市 松田 吉上

投句総数 六十五句

開函日 令和八年一月三十一日

第六十一回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

子規はいく賞三句

監獄の床に冬日の縞に落つ

愛知県名古屋市 日永田 陽光

秋深し漱石邸の猫の声

岐阜県大垣市 高橋 眞智子

漱石邸秋思の猫に出会ひけり

愛知県名古屋市 兎玉 裕幸

特選三句

冴え渡る明治の村を巡りけり

愛知県丹羽郡扶桑町 松原 継彦

文豪を訪ぬ紅葉の偉人坂

愛知県一宮市 本房 レイ子

ほほえみの菊人形のおもてなし

岐阜県各務原市 伊藤 敦

投句総数 六十六句

開函日 令和八年一月三十一日

第六十一回

子規庵（東京都台東区）

「柿」主宰

横田 青天子 選

特選三句

横顔の子規の一葉冬暖か

東京都東村山市 木村 ひさ子

子規庵の淡き山茶花満開に

愛媛県松山市 川又 夕

子規庵のガラス戸越しの小春かな

滋賀県彦根市 勝又 千恵子

投句総数 二十四句

開函日 令和八年一月三十一日

第六十一回

記念艦 「三笠」 (神奈川県横須賀市)

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

春潮や三笠かすめて飛ぶかもめ

神奈川県横須賀市 渡部 博

松の内三笠の影に鳩遊ぶ

神奈川県横須賀市 齋藤 秀一

目の前に初冬の富士が輝けり

新潟県新潟市 猪野 義任

投句総数 七十七句

開函日 令和八年一月三十一日

第六十一回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選句

呉の街軍港の街冬の暮

東京都福生市 森 徹

投句総数 十句

開函日 令和八年一月三十一日

第六十一回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

春暁や温泉街に鳴る太鼓

東京都中央区 雛川 ユミ

新宿の文化学びし師走かな

神奈川県横浜市 大久保 輝優

漱石も同じ落葉をふんだかな

神奈川県相模原市 猪瀬 夏央

投句総数 三十三句

開函日 令和八年一月三十一日

第六十一回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選二句

鶴ヶ城白壁まぶしくかすむ雪

神奈川県川崎市 宮部 由彩

冬空にそびえ立つのは鶴ヶ城

福島県会津若松市 今井 明

投句総数 二十六句

開函日 令和八年一月三十一日

第六十一回

東松山市（埼玉県東松山市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

長生きを願う達磨や初詣

埼玉県川越市 渡邊 美智子

余生には至福の馳走冬至粥

埼玉県東松山市 大井 正行

乳母車吾子の胸にも赤い羽根

埼玉県東松山市 大井 津由子

投句総数 五十八句

開函日 令和八年一月三十一日

第六十一回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「柿」主宰 横田 青天子 選

俳句のまちあらかわ賞

仏壇に伊予の蜜柑の供えあり

東京都荒川区 谷井 千絵

特選二句

初詣人混みの中繋いだ手

東京都荒川区 町田 美幸

鳥眠る街路樹のまち星月夜

埼玉県春日部市 池田 洋子

投句総数 二十六句

開函日 令和八年一月三十一日